

令和6年度 研究構想図

■研究主題

「教科の見方・考え方」を働かせる授業づくり
～自己調整ができる児童の育成をめざして～

■目指す子ども像

- 1 学びを自己調整しながら、学ぼうとする児童（個別最適化）
- 2 理由や根拠を示し、自分の考えを分かりやすく伝えることができる児童（協働的）
- 3 互いの考え方のよさを認め合いながら協働的に学ぶ児童（協働的）

■育成すべき資質・能力

課題の解決に向かう力	思考力・判断力・表現力	よさに気付く力
学びを自己調整し、学習に取り組む。	自分の意見を持ち、他者の考えと比べ、考えを深める。	他者と協働する中で、互いの考え方の良さを認め合う。

■授業改善

「教科の見方・考え方」を働かせることのできる「めあて」の設定（内容面）
自力解決場面で、「めあて」を達成するために児童が自己調整できる学習環境の設定（方法面）
自己調整・学習内容の理解についての「振り返り」に向かうための授業の組み立て（内容・方法面）